

海外作品

収蔵する海外作品は、19～20世紀の西洋絵画を中心に、美術史上に重要な役割を果たした作家の作品です。日本の作家たちに影響を与えたり、日本との関わりが深い作家の作品も収蔵しています。

絵画は、バルビゾン派を代表するコロー(1796－1875)や近代写実主義の巨匠クールベ(1819－77)、印象派の先駆的な画家といわれるブーダン(1824－98)、日本趣味でも知られる印象派のモネ(1840－1926)、ポスト印象派のセザンヌ(1839－1906)、象徴主義のルドン(1840－1916)、ナビ派のボナール(1867－1947)、キュビズムのロート(1858－1928)、抽象絵画への道を切り開いたカンディンスキー(1866－1944)などの作品を収蔵。彫刻は、彫刻の印象派といふべきロツソ(1858－1928)をはじめ、アルプ(1886－1966)やザッキン(1890－1967)、マリーニ(1901－80)、グレコ(1913－95)などの作品を収蔵しています。版画は、アール・ヌーヴォーのミュシャ(1860－1939)をはじめ、グラッセ(1845－1917)やミロ(1893－1983)などの作品を収蔵しています。



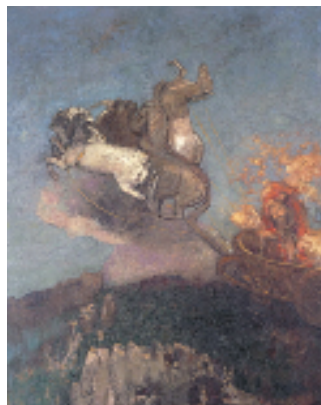
ウジェーヌ＝ルイ・ブーダン Eugène-Louis BOUDIN
《ブレスト、停泊地》
1872年
油彩／画布
55.2 × 89.5 cm



クロード・モネ Claude MONET
《アンティーブ岬》
1888年
油彩／画布
65.0 × 92.0 cm



ポール・セザンヌ Paul CÉZANNE
《水の反映》
1888－90年頃
油彩／画布
65.0 × 92.0cm



オディロン・ルドン Odilon REDON
《アポロンの馬車》
1907－08年
油彩／画布
100.3 × 81.2cm



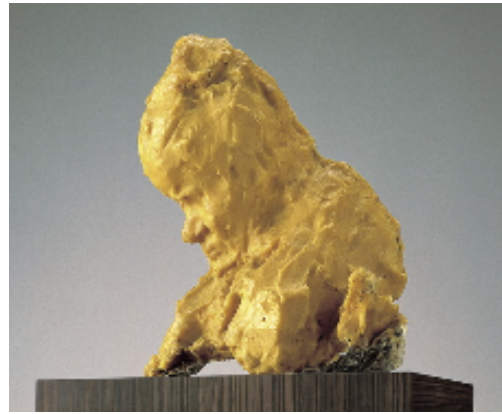
ヴァシリー・カンディンスキー Wassily KANDINSKY

《生き生きとした白》

1934年

油彩／画布

60.0 × 73.0cm



メダルド・ロツソ Medardo ROSSO

《門番の女》

1883年

石膏／蜜蝋

39.0 × 34.0 × 19.0cm